

平成28年度第4回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成28年12月20日（火）

（昼の部）午後2時～午後4時5分

区役所 本庁舎8階第一会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ
「中央区の清掃リサイクル事業」（中央清掃事務所長）
- 4 意見・質問

意見 「分け方・出し方」パンフレットを転入者に渡すとの説明があったが、確かに転入時に必ず読むものだと思う。ただ、その際、気になるのは前住所地との出し方の違いなので、分別の仕方をもう少しわかりやすくなるようにしてほしい。以前住んでいた横浜市では燃やしていいごみの種類が多かった。

意見 ある品目の分別方法が分からない場合、「分け方・出し方」パンフレットの50音別索引はとても便利だが、中には載っていない品目もある。50音別索引に載せる品目の範囲をもう少し広げてほしい。具体的には発泡スチロールが「ハ」に載っていなかった。

意見 日本全体では少子高齢化の影響で人口は今後減少すると思われるが、空家の増加とその撤去、あるいは既存建物の建て替えなどに伴い、人口減少に反比例して粗大ごみの量が増えていくのではないかと思う。となると、現在、あと50年しかもたないと言われている埋立処分場の限界ももっと速まる恐れがある。ますますごみの減量対策が大切だと考える。

意見 不便なことが大事だと思う。ごみを捨てるのにごみ袋に入れて路上に捨てられるのは日本ぐらいだと思う。外国では、びんなどは色ごとに細かく分別したり、包装が簡単であったりする。ごみを捨てるのに便利だが、それが変わらないかぎり、ごみ袋が有償になってもごみは減らず最終処分場は50年もたないと思う。

意見 埋立処分場は50年しかもたないが、消費が減ると経済にプラスにならず、ごみの減量と経済は矛盾している。1人当たりのごみ量は減ってきていると思うが、目標値のようなものはないのか。今後はごみの排出も有料化されるのではないかと思うが、長期的な検討が必要だ。ごみの排出の9割が事業系ごみであるならば企業にも努力してもらわないと全体を晴らすことはできない。

清掃事務所長（以下、所長） 区では一般廃棄物処理基本計画を立てている。これ

は10年間の計画で、5年ごとに見直しをしている。本年3月に立てた最新計画では、10年後までに平成26年度比で、家庭ごみについては1人当たり約19%、事業系では従業員1人当たり約3.9%の削減を目標としている。

所長 家庭ごみの有料化については、確かに都下の市部26自治体のうち20自治体で有料化されていて、都からも23区も有料化するように言われているが、現在、23区の清掃リサイクルの担当課長の会合の場では議題にはまだ上がっていない。

意見 ごみに対してあいまいな知識しか持っていなかった。ごみを出さないような生活をしていきたい。

意見 資料をもらいごみの減量について知ることができた。ごみの出し方を徹底させていくことが必要だと思う。住んでいるマンションでは、住民へ広報し、管理人などが再仕分けをして収集してもらっている。

質問 ごみを清掃工場で燃やした際に出た熱はどのように利用されているか。

所長 中央清掃工場では、燃やしたごみの熱は「ほっとプラザはるみ」の温水プールや暖房などに使っている。清掃工場はごみ焼却場であると同時に火力発電所でもあり、電力を工場自身で使い、余ったものを売って年間約10億円程度の収入を得ている。

意見 バイオマスエネルギーなどのエネルギーをつくるような活用も将来、考えてもいいのではと思う。

質問 路上にごみが出すことが多い中央区では、ごみを早い時間に収集することはいい施策だと思う。また、来年4月から、ごみの収集日が変わるが、このような変更に関する啓蒙をどうするのか。

所長 区では来年4月から、これまで午前3回・午後3回の収集車の運行サイクルを、午前4回・午後2回として、できるだけ早期にごみの収集に努めることにした。それにより一部地域では収集日の変更される。周知方法については、「「ごみ」の「資源」の分け方・出し方」のパンフレットにチラシを挟み込み転入者に既にお知らせしている。該当する町会にはチラシの回覧をお願いしている。年明けでは、区の広報紙に3回ほど記事を掲載するとともに、「わたしの便利帳」を広報課が全戸配布するので、チラシを織り込み一緒に配る予定にしている。また、変更になる地域の集積所に、3月下旬には各集積所に変更のお知らせの掲示をする予定でいる。また変更当日には、パトロールを兼ねた臨時収集車を出し、間違ってお出されたごみを回収することを計画している。

意見 子どもが区立幼稚園に在籍中、社会貢献活動を子どもたちに感じてほしいということで、バザーを行った。その際、売れ残った物の処分に困った。拠点回

収やりサイクルハウスかざぐるまに持っていったが、かざぐるままでは受入の基準があり、粗大ごみでも収集できないものあり、1カ月ぐらい抱えながら交渉しながら処分した経緯がある。速やかに振り分けられる場所があると思う。

広報課長 集めたものを引き取っていく業者が受け入れるかどうかの問題もあり、リサイクルハウスかざぐるまに出すなら環境推進課、拠点回収に出すなら清掃事務所にお問い合わせいただきたい。きっちりとした線を引くのが難しい状況がある。

意見 例えば、ひざ掛けとかブランケットとか、子ども用であるとか、何センチ×何センチという規格がなく現場の方の確認なので、明確に分かりにくいと思う。今は答えが出せないものだと思うが、みんなで努力してごみを減らそうとした結果、困ってしまった状況があった。

意見 ごみは分別が一番大事だと思う。ドイツでは、びんも茶・白・緑と色別に分別していた。アメリカのスーパーマーケットでは、野菜や果物は山積みの状態で販売し、特に包装はされていないのに、日本では小分けし、ラップに包み、販売している。ごみをどう処理するよりも、その前の段階でごみを出さないようにする努力を国でやるべきだと思う。中央区だけでも包装の簡易化を小売業者に協力依頼していただきたい。

所長 びんについては、現在、皆様が分別して出していただいた後、中間処理の業者が、ビール瓶、酒の一升びんなどの洗って再利用できるもの、色分けして砕いて原料とするものなどに分別している。一人一人が分別意識を持てば、社会全体としても、ごみ減量に向けて意識が高まると思う。また、簡易包装化の啓発事業も行っているところではある。

意見 私は以前、企業で環境関係の仕事をしていて、先日見学した廃棄物処理場などには何度も行った。先日見学しての率直な感想は、ごみの量が以前よりも大分減ったなということだった。

質問 説明で、コンビニエンスストアでのペットボトル回収をやめたとあったが、その理由は何か。私は自分の敷地内に自動販売機を設置して、自動販売機で出たペットボトルや缶は業者に頼んで処分しているので納得できません。

所長 コンビニエンスストアでのペットボトル回収は、これまで拠点回収として区が行ってきたが、集積所でのペットボトル回収が定着してきたこともあって、事業者は自分のところで出たごみは自分で処分するという本来のルールに戻すことにした。

意見 これまで区では、収集の時間が遅いため、集積所にごみが置かれている時間が長く、その間に通行人が集積所にごみをポイ捨てしてしまう。みつともないので、そのごみを私が自分の家のごみとまとめたりしている。通りすがりの人

にも、決められた人しかごみを捨てられないなどの啓発をしてほしい。来年4月からの収集方法の変更はありがたい。

所長 同様のご指摘はよく寄せられている。これはマナーの問題としか言いようがなく、注意喚起の立て看板を立てても読まないし、読んでもポイ捨てをする人はしてしまう。地道に啓発していくしかないのかなと思っている。過去の例では、大通りから路地への曲がり角にある集積所で、通行人のポイ捨ての多い場所があったが、集積所を路地の奥へ移動したら、大分減ったということである。

広報課長 ポイ捨てされたごみをまとめて出していただいて、よりひどい状況になるのを食い止めていただいていることに感謝する。区としては、立て看板のほか、ポイ捨てが多いと通報があった場所・時間に監視員を出したりもしているが、ポイ捨てをする人は結局、監視の目がなければやってしまうわけで一朝一夕には変わらない。所長の言うとおりに、繰り返し啓発していくしかないのかなと思う。

質問 区のごみの9割が事業系だということだが、先日、見学した埋立処分場の資料によると、23区の一部事務組合の年間総収入のうち、事業系のごみ処理手数料と売電による収入は約38%しか占めていない。これでは事業者のごみ処理は自己責任によるという原則から見て著しくバランスを欠いているように見える。近隣の政令指定都市と比べて、23区の手数料はどうなっているのか。事業者のごみ手数料の適正化への努力、定期的な見直しは行っているのか。

所長 近隣政令指定都市のごみ手数料の状況は手元に資料がないので答えられないが、23区の一部事務組合では、3年ごとに手数料の見直し・改定を行っている。これは23区全体でのごみ処理にかかる経費（回収・運搬費用、人件費等）を全部算出して、それに見合う手数料を定めている。来年10月からは、現行1キログラム当たり36円50銭の手数料を40円ちょうどに値上げする予定でいる。このように適正な受益者負担となるように努めている。

質問 飲食店が多い区内の状況からしても、廃棄する食品の問題は重要だ。農地もない中央区においては、コンポストでの堆肥化処理は非現実的だ。例えば飲食店や学校給食に関して、何か食品残滓のリサイクルに関する取組みをしているか。

所長 学校給食に関しては、その食品残滓をすべて集め、千葉県銚子市に運び、そこで堆肥化処理を行い、その堆肥を使って育てた野菜をまた区が購入し、学校給食に活用するというリサイクルをやっている。

意見 先日の埋立処分場見学で、あと50年しかもたないと聞いて愕然としたと同時に、ごみの分別の徹底、適正なごみ出しが、ごみの減量のためにとっても大切だと痛感した。中央区も含め都として、ごみ減量の運動をすべきではないかと

思った。

質問 区内には工場はほとんどないので、ごみを出している「企業」というのは結局、飲食店ということか。

所長 飲食店が多い。だから、飲食店に対しては、フードロスを少なくするため、食べ切れる量にするようにとかお願いしている。

意見 多くの区民はごみ問題がいかに深刻かをまだ認識していないのではないかと思う。それをPRするためにも、従来の広報に加え、町会やマンション管理組合を通じての啓発活動もやるべきだと思う。

意見 集積所に、コンビニエンスストア店頭にあるようにリサイクル品目ごとにゴミ箱を設ければ、仮に通行人によるポイ捨てがあっても分別が進むのではないかと思う。ごみの分別・出し方に関しても、こういう規制やルールをつくりましたと言うだけでだめだ。ルールを守らせるため、区はもっと積極的に処罰に取り組むべきだと思う。

所長 処罰をするためには監視をしなければいけないが、それにはコストもかかるので、そう簡単な話ではない。現在、区の広報誌には毎回のよう、ごみ出しに関するお知らせを載せていて、その中で少しずつではあるが、ルールが浸透してきているのかなと思っている。

意見 埋立処分場見学は先日の2回目だったが、1回目に行ったときに比べ、ごみ処理の技術がとても進んでいるなと感心した。特に畳の裁断処理には大変驚いた。

意見 新聞紙などの資源を出す場合、夜に出す人が多いかと思うが、そうすると、朝、収集に来たときには、その資源がすっかりなくなっている。おそらく業者や路上生活者が夜や早朝に持ち去っていくのだと思う。持ち去りを防ぐためにも、なるべく早く収集していただきたい。

所長 資源の持ち去りに関しては、区は民間事業者にパトロールを依頼して、防止に努めており、現場を発見して資源を戻させたという報告を受けている。ただ、監視の目を盗んで持ち去る人も出てきて、なかなか取締りは難しい。ちなみに平成26、27年度に、新聞紙束の中にGPS装置を入れ、どこに持ち去られるかを他区と合同で追跡調査したことがある。2年とも埼玉県と同じ業者で、その都度、嚴重注意した。

広報課長 所長が言ったとおり、区としてもパトロールはやっているが、同じリサイクルに回されるのだからいいのではないかと、路上生活者がそれで自立の道を探っているのだからいいのではないかという意見も寄せられ、なかなか優先順位を高くは取り組めないでいる。

質問 蛍光灯はどう出せばいいのか。「分け方・出し方」パンフレットでは回収となっているが、私はこれまで燃やさないごみだと思っていたが。

広報課長 割れていない場合は、毎週土曜日、学校等で行われている拠点回収に、割

れている場合は燃やさないごみに出していただきたい。

意見　ごみの処理券で100円券も出していただきたい。以前、家をリフォームする際、粗大ごみが出て、当初、200円券で済むものを申請していたが、途中で300円券が必要な粗大ごみに変更したので、追加で100円券を買おうしたら、コンビニの店員さんから、ないと言われ、改めて300円券を購入した。残った200円券は当面使う予定もなく、むだに終わってしまいそうだ。私のように100円券を求めに来るお客さんもしばしばいると、その店員は言っていた。

所長　確かにご指摘のように途中変更の場合には100円券があれば便利かもしれないが、通常の場合、200円券と300円券の組み合わせで処理できるようになっている。処理券の販売について、1枚につきいくらか手数料を委託先の販売店に払うことになっているので、なるべく少ない枚数で処理できるようにするため、100円券は発行していない。

意見　私は仕事場が渋谷区にあるが、やはり中央区と渋谷区では分別のルールが少し違うようだ。例えば食品包装用のラップは、渋谷では燃えないごみになっている。時々、頭が混乱するので、統一できないのかなと思う。

所長　今の場合は、おそらく事業所から出るごみなので、会社が民間事業者にごみの収集を委託しているケースだと思う。そうすると、最終処理の都合から、自治体が定めたのとは別の分別になることがあり得る。また、確かに自治体ごとに分別のルールが違うことがあるが、これは住民の方がルールを確認していただくしかないのかと思う。

所長　本日、モニターの皆様からいただいた意見については持ち帰り可能なものから実施していきたい。ごみの減量については出す方の取り組みが一番大事だ。皆様方はしっかりやっただいただいていると思うが、それを地域や周りの方にも広げていただきたい。

— 了 —